病理検査

2022年3月29日現在

No.	項目	質問	回答	追加・修正日
1	ホルマリン固定パラフィン包埋ブロック	ホルマリン固定パラフィン包埋ブロックを中央ラボへ送ることは可能でしょうか？	ホルマリン固定パラフィン包埋ブロック（診断用）は、原則、院外へのブロック持ち出しは、禁止としております。ただし、切り出し時に診断に必要とならない場所（残臓器）からの新たなブロック作成が可能な場合は、診断者の許可に応じて対応可能です。	2022年3月29日修正
2		腫瘍サンプル固定処理用中性緩衝ホルマリン濃度は何%ですか？	10%中性緩衝ホルマリンのみを使用しております。	2022年3月29日修正
3	病理スライド	無染スライドを中央ラボへ送ることは可能でしょうか？	未染標本作製については、当科では、診断した病理医の許可が必要となります。パラフィンブロックの組織の量にもよりますが対応可能です。	2022年3月29日修正
4		HE染色したスライドの提出は可能でしょうか？	診断で使用したHE染色標本は、原則、院外への持ち出しは、禁止としております。診断した病理医の許可が必要となります。状況にもよりますが、新たに薄切して患者氏名が乗らない状態であれば対応可能です。	2022年3月29日修正
5		病理スライドの厚さは？	病理スライドについては、当科では、松波硝子工業株式会社のFF-014、CRE-12、FRC-13を使用しております。病理スライドの厚さは、一定で、スライドは、Size76×26mm、Thickness0.9～1.2mm、を使用しております。ブロック薄切厚については、臓器にもよりますが、3μm、4μm、5μmで薄切しております。	2022年3月29日修正
6		nuclease汚染除去液は使用可能ですか？	対応可能です。	2022年3月29日修正
7		nuclease-free water は使用可能ですか？	対応可能です。	2022年3月29日修正
8		スライドを中央判定に提出頂いた際、スライドの返却は必要でしょうか？	新たに治験用として作成した標本であれば、返却不要ですが、事情により病理診断で使用した標本を中央判定に提出すのであれば、要返却となります。	2022年3月29日修正